



ハットピン「雀蜂」 1899~1900年頃

3月23日(土)~7月12日(日)東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園) 一般1250円

この度、ガラス工芸・装飾品300余点一堂に
開催される。アール・ヌーヴォー、アール・デコの時代に活躍した工芸家ルネ・ラリック(1860~1945年フランス生まれ)の代表作として、またその他のガラス工芸をはじめ、指輪やブレスレットなどのジュエリー、櫛、文房具、金銀細工など約300点が公開される。パリ装飾美術館、グルベンキアン美術館(リスボン)、ミナミ美術館のコレクションおよび国内外の貴重な所蔵品で構成される大規模な展覧会。手掛かりとなることだ。

★5月23日(土)~7月12日(日)東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園) 一般1250円

凍てついた20年代 パリの結晶

稻賀繁美

の展覧会が開催される。ラリックは、ギリギリを取り入れながら独自の作風を作り上げたことで知られる。今回、世界的な評価を得ているガラス工芸をはじめ、指輪やブレスレットなどのジュエリー、櫛、文房具、金銀細工など約300点が公開される。パリ装飾美術館、グルベンキアン美術館(リスボン)、ミナミ美術館のコレクションおよび国内外の貴重な所蔵品で構成される大規模な展覧会。手掛かりとなることだ。

★5月23日(土)~7月12日(日)東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園) 一般1250円



櫛「散形花序」 1897~98年頃
パリ装飾美術館蔵

の展示会が開催される。ラリックは、ギリギリ

ス、蝶、蛙、野ぶどうなどを題材にし、流麗なデザインを取り入れながら独自の作風を作り上げたことで知

られる。今回、世界的な評価を得ているガラス工芸をほ

じめ、指輪やブレスレットなどのジュエリー、櫛、文房具、金銀細工など約300

点が公開される。パリ装飾美術館、グルベンキアン美術館(リスボン)、ミナミ美

術館のコレクションおよび国内外の貴重な所蔵品で構成される大規模な展覧会。手

掛けられることだ。

★5月23日(土)~7月12日(日)東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園) 一般1250円

として再解釈されることになる——ゴシック教会建築の馬やキュビズム絵画を司る形態は不合理ではなく、内的合理性の外在化なのだ、と主張した建築理論家ヴィオレ・ル・デコックのロマン主義的な裏付けを得るや、こうした「余剰」は逆に機械的ダメ梦想の輩に倣つて。実際、鉄骨などの素材によって構造力が高級な閑芸術の二次的応用としての装飾ではなく、材質の原理とも言えようが、それ

の原理とも言えようが、それ

の原理とも言えようが、それ